そよかぜだより

2016
1月号

そよかぜ歯科医院のURL
http://soyokaze-dc.com

一月（睦月）

新年あけましておめでとうございます。
皆様、初詣には行かれましたか？初詣には、これから始まる一年間が良い年であるようにという祈りがこめられています。また、その年の吉凶を占うものとしておみくじがあります。漢字で書くと「御神籤」「御御籤」などとなります。おみくじについては、その神社に結んで帰る人が多いのですが、「凶みくじのみ結んで帰り、吉みくじは持ち帰る」「願いがかなう＝実を結ぶように、おみくじはすべて結んで帰る」など、諸説あります。
今年も健康に気を付けて実り多き一年にしたいですね。
院長はじめスタッフ共々、精一杯診療いたしますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

中島　義雄先生が
博士(歯学)課程を修了しました！

中島先生が博士（歯学）になりました。一言、喜びの声を頂きたいと思います！

昨年12月24日に学位取得のための最終審査を無事に終えることができました。今後は安心できる歯科医療を提供できるように、頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

審美的な口腔内とは

前回まで歯肉の審美性についてお話ししてきました。今回は歯肉の審美性を含め、審美的なお口の中の状態についてまとめていきたいと思います。
左の写真は、理想的な口腔内の写真です。健康的な歯肉の状態の目印として、色は薄いピンク色をしていて、スティップリングが見られます。歯と歯の間の歯肉も三角形にしっかりと埋まっている状態です。前回お話しした、歯肉の手術を行うと、下がってしまった歯肉も元通りになり、より審美性が良くなります。
また歯並びもきれいにそろっているとさらに審美的に見えます。歯並びが悪いと、歯ブラシが当たらない部分が多くなります。そうなると、汚れがたまりやすくなり、歯肉が腫れて、歯周病になりやすい状態を作ってしまいます。歯並びが悪い場合、歯ブラシのほかにフロスやタフトブラシを必ず用いて刷掃することをおすすめします。歯並びが良いと、審美性が良いのと、汚れがつきにくく、汚れがついてもブラッシングしやすくなります。歯並びが悪い場合には、矯正することもおすすめします。当医院では、月に一回、矯正の日を設けておりますので、お気軽にご相談下さい。
保険外診療にはなりますが、審美性をさらに良くする方法として、ホワイトニングがあります。ホワイトニングを行い、歯が白くなることによって、ブラッシングをして、歯を綺麗に保とうとするモチベーションが上がることが期待できます。ホワイトニングの方法には、二種類あります。歯科医院で行う方法と、家で行う方法がありますので、興味がある方は、スタッフにお気軽にお申し付け下さい。
お口の中をきれいに保つには、まず、汚れを落とすこと、つまり、日頃のブラッシングが大切になります。歯ブラシのほかにフロスや歯間ブラシを用いて、審美的な歯や歯肉を目指しましょう！

院長より

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。
寒さが一段と厳しくなってきました。また、温かく美味しい食べ物が味わえる季節にもなってきました。そよかぜ歯科医院も新しいメンバーも年明けから加わり和気あいあいと日々の診療をすすめております。一月九日には九周年を迎え、十年目に突入しました。昨年末には新しい歯科用CTの導入を含め、より一層診療面の充実を図りたいと思っております。今後、インプラント専門医を中心とした専門外来の開設も予定しております。
そよかぜだよりでお伝えした審美治療に関しては今回がまとめになります。次回から各年齢に応じた歯科的特徴についてお伝えします。
今年一年、皆様にとって良い年でありますことをお祈り申し上げます。

2015年を締めくくる忘年会

12月27日の診療終了後に開催された忘年会。診療室の近くにある、焼肉屋さん「大福」に行ってきました。
今回は中島義雄先生の博士号取得のお祝いも兼ねていて、祝福ムードで和気あいあいと楽しい時間を過ごすことができました。